



横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより

# 横浜ウエーブ

第212号



## 新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。昨年中も聴覚障害者情報提供施設事業の実施にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

今年は、東京2025デフリンピックが開催となります。この開催によりデフスポーツやアスリートの理解と支援がさらに広がることは間違いないでしょう。今年も利用者、通訳者、職員の安全を第一とし、安心してサービスをご利用いただけるよう努めてまいります。

事務所は電話やLINEビデオ通話の着信など慌ただしくしていると思いますが、情提事業等に関してお気づきのことがありましたら、いつでも遠慮なくお知らせください。

皆さまにとって穏やかで明るい一年となりますよう、今年もどうぞよろしくお願いいたします。



## 全国障害者スポーツ大会

10月26日(土)～10月28日(月)、SAGA2024全国障害者スポーツ大会「新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。」が開催されました。横浜市からは、横浜市心身障害児者を守る会連盟の清水龍男氏が団長を務め、選手72人、役員39人の計111人が選手団として派遣されました。聴覚障害の選手は陸上2人、フライングディスク2人、卓球1人でした。当施設の職員1人と登録手話通訳者1人が同行しました。

選手団としてのメダル獲得数は、金メダル43個、銀メダル24個、銅メダル6個の計73個という好成績でした。選手は、現地のスタッフやボランティアのサポートを受けながら各競技に参加しました。喜びはもちろん、悔しさも含めて、選手一人ひとりの思いを感じることができた大会でした。来年は滋賀県で開催されます。選手の皆さんが新たな目標に向かってご活躍されることを、心から応援しています。



## 手話通訳者全体研修

10月19日(土)、高嶋由布子氏を講師に、全体研修を実施しました。講師は国立障害者リハビリテーションセンター研究所 障害福祉研究部で流動研究員として日本手話の研究をされています。研修はオンラインで行い、手話通訳者92人が出席しました。「日本手話を学ぶ「言語権」とろう・難聴児の教育をめぐって」をテーマに、国連障害者の権利条約に手話の言語権が明記されているにも関わらず、ろう・難聴児が手話を習得する環境の整備が進んでいないことや、言語には習得に適したタイミングがあり、それを逃してしまうと言語が身につかない危険があることなどをお話いただきました。通訳派遣の現場でも、ろう・難聴児教育に関わる内容は多く、通訳者として注視していくべきテーマだと感じました。

### 手話通訳者課題別研修 「医療場面・事例検討」

11月16日(土)、午前・午後に標記内容で研修を行い、延べ56人の参加がありました。各回とも前半に、横浜市総合保健医療センター総務課長補佐兼庶務係長 田原智昭氏を講師に迎え、「精神疾患・障害の理解と特性を踏まえた対応のコツ」と題して、精神疾患・障害の対応のコツや、精神科外来の特性など、手話通訳者が現場で直面する悩みにひとつひとつ説明していただきました。後半は、精神科外来の通院時の事例をグループで検討しました。通訳者が気を付ける対応のポイントは、精神科と他の外来とでは違うのか、また、限られた時間での診察場面で、患者の語りをありのまま通訳する難しさをそれぞれの通訳者の視点で共有することができました。

通訳依頼の半数以上を占めるのが医療現場であり、精神医療分野のご依頼も増えているのが実情です。医療場面の事例検討は、引き続き来年度以降もおこなってまいります。



### ブラッシュアップ研修（聞き取り）

7月16日(火)、9月17日(火)、10月15日(火)に標記研修を実施しました。7月と9月は手話教師センターの數見陽子氏に講師をお願いし、歯科と眼科の診察場面での手話表現と模擬通訳を行いました。10月は情提職員との研修の振り返りを行いました。研修を受けて「体の部位の表現は、体の近くで表現すると伝わりやすいということが理解出来ました。」「CL表現では大きさや重さに加え、色を伝えることも有効だということがわかりました。」と多くの気づきがありました。研修での気づきを実際の通訳で活用していただけることを期待しています。

### 要約筆記者現任研修

#### 「11月:実技研修～聴く力を活用して」

11月13日(水)の現任研修は手書き、パソコンともに全国要約筆記問題研究会から講師をお招きして実技研修を行いました。10月に、同じく全要研講師をお願いした「聴く力」の講義をもとにした研修です。文の構造を意識し、話者の言いたいことを捉えながら聴く、情報の優先順位を考えながら聞き取捨選択をして要約筆記をするなど、実技に落とし込みながら研修していただきました。

#### 「12月:デマンドコントロール事例検討」

12月11日(水)に、デマンドコントロールスキーマを元にした事例検討の研修(高木真知子講師)を行いました。昨年度学んだ理論をベースに、現場でおこるさまざまな事例に対しどう対応するか、グループで検討しました。手書き、パソコン交えた研修で、活発な意見交換がなされました。



## 講座「聞こえと補聴器」

11月6日(水)、22日(金)、26(火)の3日間、横浜市障害者社会参加推進センター、横浜市中途失聴・難聴者協会、横浜市健康福祉局主催の講座「聞こえと補聴器」が開催されました。22日の講座では当施設の相談担当職員から「聴覚障害者の福祉制度と聞こえの相談事業」というテーマで、補装具(補聴器)や屋内信号装置などの日常生活用具の給付、要約筆記者の派遣についてお話をしました。特に要約筆記についてはご存じない方も多くいらっしゃいました。要約筆記は、社会生活上必要ないろいろな場面で利用することができます。聞こえにくいことを理由に社会活動の幅が狭まってしまわないよう、要約筆記の利用が広がっていくと嬉しく思います。

### 参加報告

## 第37回全国ろうあ者相談員研修会

11月15日(金)～16日(土)、静岡県で開催された第37回全国ろうあ者相談員研修会・第28回全国職業安定所手話協力員等研修会兼ろうあ者労働問題フォーラムでは、全国から90人が参加しました。初日は全日本ろうあ連盟の小林泉氏による基調報告が行われ、「手話言語法」の制定や優生保護法問題についての経過が説明されました。また、来年開催されるデフリンピックには社会を変えていく大きな意義があるとも述べられました。続いて、市山小織氏が「チーム支援について」の事例報告を行い、支援者間の連携の重要性が強調されました。

2日目には3つの分科会に分かれ第1分科会に参加しました。山梨県の相談員小澤氏の事例報告を通じて、相談員の役割分担の重要性が再確認されました。相談員が複数の役割を担うことの問題点が指摘され、多職種との連携強化が求められました。全国の相談員と議論し、情報を共有することができ有意義な研修であったと感じました。



## 令和6年度聴覚障害者向け映像制作担当者研修会

11月21日(木)～22日(金)、新潟県聴覚障害者情報センターにて標記研修会が開催され、全国から31人の参加者があり、当施設から職員2人が参加しました。

1日目は3件の講演があり、まずは「著作権について」文化庁著作権課の職員より、著作権制度の概要についての説明がありました。著作権は映像制作時に必ず意識しないといけないため、今後の制作時の参考になりました。そして、「能登半島地震の配信等について」石川県聴覚障害者情報センターの職員から、能登半島地震が発生したときに利用者に対して災害の状況や救援活動の様子を情報提供するためにどのように撮影・配信したかの講演がありました。最後に「能登半島地震時目で聴くテレビ現地取材について」目で聴くテレビディレクターより、取材時に感じたことや実際の様子など、映像を交え講演されました。災害時における情報発信のあり方は、横浜市でも考えていかないといけないと感じました。

2日目はグループ討議となり、初心者向けと自由討議にそれぞれ参加しました。初心者向けのほうは、番組制作の流れや撮影にあたり初歩的な機器の取り扱いなどのレクチャーを受けました。自由討議は事前アンケートよりそれぞれの映像制作の環境や制作時の課題について討議を行いました。

全国の映像制作担当者が一堂に会し一緒に研修ができ、大変意義のある貴重な時間となりました。今後も継続して参加していきたいと思えます。

## 第52回横浜市聴覚障害者の集い&手話言語の国際デー記念イベント



9月8日(日)、横浜市西公会堂にて標記イベントが開催され、当施設もブースを出展し事業のPRを行いました。区役所における遠隔手話通訳や設置通訳に関する説明、遠隔手話通訳(J-TALK)の登録なども実施しました。多くの方に前提の事業についての説明と、十分なPRができたこと実感しました。また機会がありましたら、積極的に参加していきたいと思えます。

### ～ 職員の異動がありました ～

【新採用】 11月1日付 磯江 香奈 (いそえ かな) (言語聴覚士 聞こえの相談事業担当)



## 普及・啓発 出前講座・講師派遣

- |                            |                         |
|----------------------------|-------------------------|
| 9月8日(日) 青葉区谷本地区社会福祉協議会     | 11月19日(火) J A横浜女性部 磯子支部 |
| 9月13日(金) 横浜市上白根地域ケアプラザ(旭区) | 11月26日(火) (公財)神奈川芸術文化財団 |
| 10月21日(月) 青葉区奈良地区民生委員協議会   | 12月3日(火) 手話サークル希(栄区)    |
| 10月29日(火) いずみ野地域ケアプラザ(泉区)  | 12月15日(日) 金沢区聴覚障害者協会    |
| 10月31日(木) 葛が谷地域ケアプラザ(都筑区)  | 12月19日(木) 関東学院大学        |

上記団体から依頼を受けて、講師を派遣しました。聴覚障害者対応のポイントやコミュニケーション実践を中心に、通訳者の派遣制度や、NET119やアプリ110、電話リレーサービスなどについても説明しました。

興味のある方は、普及・啓発担当へ連絡ください。【普及・啓発】rapo-keihatsu@yokohama-rf.jp



### (11月末までの累計)

#### ■通訳者の派遣・紹介人数

#### ■聴覚障害者の相談

内容	手話通訳	要約筆記	合計	昨年同月	相談事業	実件数	対応数
医療・保健	3,718	97	3,815	3,865	医療	71	153
司法	14	2	16	28	職業	38	85
教育・保育	460	5	465	587	教育	0	0
労働・雇用	317	1	318	441	住宅	15	30
社会生活	700	101	801	797	生活	198	311
自己啓発	121	21	142	217	福祉	95	151
福祉推進	788	728	1,516	1,403	法律	13	25
介護保険	1,349	14	1,363	1,426	聞こえ	39	40
他都市	47	3	50	57	合計	469	795
合計	7,514	972	8,486	8,821	昨年同月	582	1,083
昨年同月	7,907	914	8,821				

#### ■通訳者の現任研修

#### ■映像・字幕制作

手話	回数	23	参加人数	550	自主制作作品数	46
要約筆記	回数	24	参加人数	496		



#### 11月

- 1 新採用職員辞令交付
- 6 聴覚障害者のための健康学習会  
(ラポール上大岡)
- 8 県警通訳センター新所長来所
- 9 第3回横浜市立ろう特別支援学校運営協議会  
出席
- 10 手話通訳者養成講座通訳Ⅲ協力
- 12 視聴覚機器点検
- 13 要約筆記者現任研修
- 15-16 全国ろうあ者相談員研修会参加(静岡県)
- 16 手話通訳者課題別研修・連絡会
- 17 手話通訳者養成講座通訳Ⅲ協力
- 18 登録手話通訳者2年次研修
- 19 出前講座講師対応(J A横浜女性部)
- 21-22 聴覚障害者向け映像制作担当者研修参加  
(新潟県)

- 22 講座「きこえと補聴器」講師対応
- 24 手話通訳者養成講座通訳Ⅲ協力
- 25 衛生委員会
- 26 神奈川県芸術文化財団講師対応
- 27 主管課定例会議
- 28 全国聴覚障害者情報提供施設協議会  
第三ブロック臨時会議(埼玉県)
- 30 秋のヨコアリくんまつりブース出展  
(横浜アリーナ)

#### 12月

- 2-3 防火・防災管理講習(研修センター)
- 3 出前講座(手話サークル希)
- 4 健康学習会(横浜ラポール)
- 9 横浜市聴覚障害児協議会

- 9 第4回聴覚障害者災害対策救援  
横浜市域本部会議出席
- 10 視聴覚機器点検
- 11 要約筆記者現任研修
- 11 神奈川県聴覚障害者福祉センター見学
- 11-12 情提協議会理事会出席(京都)
- 15 出前講座(金沢区聴覚障害者協会)
- 19 若年層出前講座(関東学院大学)
- 19 映像制作室点検
- 23 衛生委員会
- 24 令和6年度新採用職員研修出席
- 25 主管課定例会議
- 26 相模原市視察対応
- 26 事業団研究発表会
- 28-1/4 横浜ラポール休館日
- 29-1/3 情報提供施設休業

### 横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより《横浜ウェブ》

発行日:令和6年12月31日

発行者:(社福)横浜市リハビリテーション事業団 横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752 TEL.045-475-2057 FAX.045-475-2059

ホームページ <http://www.yokohama-rf.jp/rapport/jyoutei/>